

以下の文章を読んで、2つの設問に答えなさい。

現代社会のように、人びとの生活を消費および国の提供する社会保障サービスが補償するようになると、人びとが固有の人と付き合う必然性は低下する。それとともに、私たちが縛り付けていた血縁や地縁の拘束は揺らぎ、人間関係には感情の入る余地が増してゆく。私たちは今や「自らの好み」に応じて関係を形成・維持する自由を手に入れたのである。このようなつながりを「選択的關係」としておこう。「選択的關係」の主流化は現代社会における孤立不安と密接に関連する。(中略)

「選択的關係」が支配的な時代において重視されるのは、当事者どうしのコミットメントである。というのも、人間関係の維持・形成は、選択権を与えられた当事者たちの積極的関与によって成り立つからだ。ギデンスは、社会的・経済的生活といった外的条件ではなく、お互いの関係性への欲求を基軸として成り立つ関係を「純粋な関係」(pure relationship)と称し、その増加を指摘した(Giddens 1991=2005, 1992=1995)。

当事者どうしの積極的関与によって成り立つ人間関係の最大の利点は、行為者個々人が自らの好みに合わせて関係を構築および消去できることである。これにより、人びとはやや閉塞感の強い集団から脱出する機会を得た。家庭や職場からの解放の議論は、こうした現象を下地においている。しかしその一方で、こうした人間関係は、人びとにいくつかの課題をつきつける。すなわち、人間関係を円滑に進める行動様式の確立とそれに基づく関係の構築・維持である。

人間関係が、関係そのものに対する相互のコミットメントにより成立するのであれば、関係の維持・形成に必要な要件は、社会ではなく当事者間で用意しなければならない。つまり、関係をうまく進める材料をお互いに見出さなければならないのである。そのなかで強調されるようになったのが、人間関係の成立要件としての相互もしくは相手の満足や相互の承認である。

土井(2004, 2008)は、現代社会の人間関係をお互いの感覚のみに依拠し、相手を傷つけないよう過剰に配慮する「優しい関係」と表現している。「優しい関係」は、相手の感情を損なえば解消される可能性が高いため、相手の心理への過剰なコミットメントを促す。同様の視点から、森真一は、関係をつなぎとめる糸口を見出せないまま、過剰に相手の心理に傾倒してゆく社会を「心理主義」社会(森 2000)、「やさしさ社会」(森 2008)などと批判的に述べている。「選択的關係」が主流化してゆく社会において、個々人に帰属すると考えられる「心理」の役割は格段に増しているのである。

しかし、個々人の心理は、社会で共有される規範ほど安定したものではない。したがって、諸個人の心理に依拠する人間関係は著しく不安定になる。人びとは、関係を円滑に進めてゆく行動様式がはっきりと見えないまま、相手の心理に配慮しつつコミュニケーションを行う厄介な状況にさらされているのである。こうした状況は、自らの提示したパフォーマンスが正解しているのかどうか——相手の感情を満たしているのかどうか——、という不安を喚起する。

かりに、提示したパフォーマンスが「不正解」であれば、人間関係は解消の危機にさらされる。というのも、人間関係の形成・継続が、当事者どうしの相互承認に委ねられるならば、「パートナーどうしのあいだに都合の悪いことが起これば、それは本質的に関係性それ自体を脅かす」(Giddens 1991=2005:100)ことになるからだ。関係を継続してゆくためには、コミュニケーションの「正解」を更新し、お互いを承認し続けなければならないのである。

以上の議論から、「選択的關係」の主流化は、既存の息苦しい関係からの解放感と同時に、関係を解消されるかもしれない、もしくは、関係を構築できないかもしれない恐怖感を植え付けたと言えよう。「私はほんとうに受け容れられているのか」「私はこれからも受け容れてもらえるのか」という承認不安は、人びとの孤独感をあおり立ててゆく。孤立不安社会の到来である。

出所:石田光規、2018 年、『孤立不安社会——つながりの格差、承認の追求、ぼっちの恐怖』、勁草書房(問題のため一部省略)

【設問 1】

なぜ「孤立不安社会」が到来したと考えられるのか。300字以内で説明しなさい。

[illegible]

【設問 2】

現代社会における孤立不安にどのように向き合うべきか。あなたの考えを400字以内で述べなさい。

A full-page sheet of white graph paper with a uniform grid of thin black lines. The grid consists of 20 columns and 20 rows, creating a total of 400 small squares. There are no margins, text, or other markings on the page.